

2026年2月25日

各位

会社名 SBIグローバルアセットマネジメント株式会社
(コード番号 4765)

(上場取引所 東京証券取引所 プライム市場)

代表者 代表取締役社長 朝倉 智也

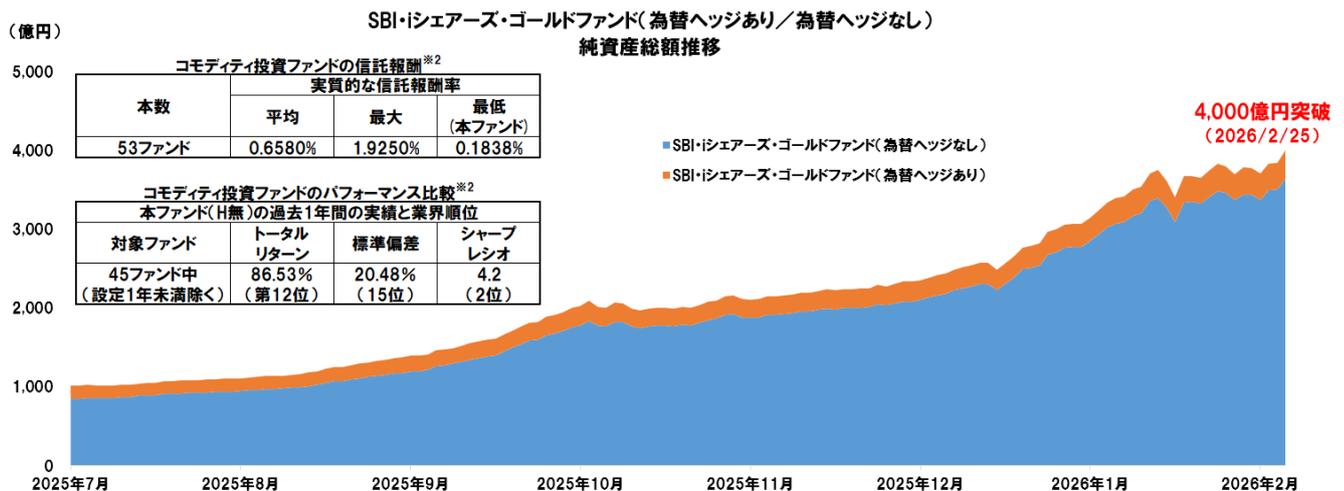
開示責任者 常務執行役員 CFO 小笠原 靖行

『SBI・iシェアーズ・ゴールドファンド』純資産4,000億円突破
— 1ヶ月弱で500億円増加、金投資の中核的存在へ —

当社子会社のSBIアセットマネジメント株式会社(以下「SBIアセット」)が設定・運用する「SBI・iシェアーズ・ゴールドファンド」(愛称:サクッと純金、以下「本ファンド」)は、為替ヘッジありおよび為替ヘッジなし合計の純資産総額が4,000億円^{*1}を突破しました。

本ファンドは2026年1月28日に3,500億円へ到達後も残高を伸ばし、その後一時的な価格調整局面を経ながらも着実に増加を続け、1ヶ月弱で500億円の増加を果たしました。

また、純資金流入額の増加も顕著であり、2025年通年で1,500億円超、2026年1月単月でも700億円に達するなど、金関連ファンドとして高い存在感を示しています。近時は金関連ファンドの新規設定が相次ぐ競争環境下においても、本ファンドは個人投資家の皆さまに選ばれ、着実に資産を積み上げてまいりました。



信託報酬を含めた本ファンドの実質的な負担(年率・税込)は0.1838%程度と、「金(ゴールド)」を含むコモディティを投資対象とするファンドの中でも最低水準のコスト^{*2}を実現しております。圧倒的な低コストで金という実物資産への効率的なアクセス手段を提供していることが、継続的な資産増加の基盤になっているものと考えております。

世界的な債務残高の拡大や財政支出の増加、各国中央銀行による金備蓄の積み増しなどを背景に、金はインフレヘッジにとどまらず、信用リスクから独立した資産として再評価されています。本ファンドは、こうしたマクロ環境の変化を捉え、資産防衛のみならず資産形成の一環として金を活用する投資家のニーズにも応える商品として、その役割を一段と高めています。

4,000億円という規模は、金投資が資産形成における重要な選択肢として定着していく過程の節目にすぎません。当社グループは今後とも「顧客中心主義」を徹底し、投資家の皆さまにとって真に信頼されるパートナーとしての役割を、より一層果たしてまいります。

以上

^{*1}: 2月24日の純資産総額に2月25日の価格変動、設定計上予定額等を反映した試算額

^{*2}: 公募の追加型投資信託(ETFを除く)として、ウエルスアドバイザー株式会社のデータを基にSBIアセット調べ(2026年2月24日時点)

****【本件に関するお問い合わせ先】****

SBIグローバルアセットマネジメント株式会社 管理本部 電話:03(6229)0812 メールアドレス:sbigam@sbiglobalam.co.jp

SBIアセットマネジメント株式会社 商品企画部 電話:03(6229)0170

(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号、加入協会:一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会)